



4.4

2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。

4.7

2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シテズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。

■在大学院生メンバー

崔 晋豪 / 磯野 治実 / 山本 裕馬

■教員

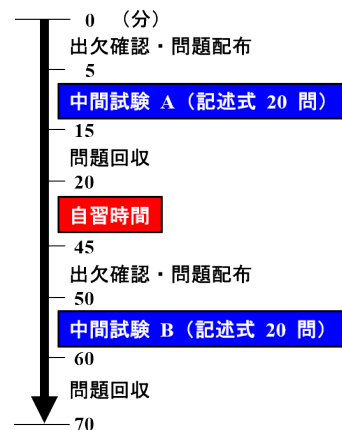
富永 和也
岡村 友玄
池田 千浦子

歯学部

口腔病理学講座

サンドイッチ型中間試験による教育効果の向上

本学では、学生の知識定着を確実にするため、各科目に中間試験が設定されています。私どもの講座では、病理学と口腔病理学とを担当していますが、2019年度からサンドイッチ型の中間試験を開発・実施しています。これは、試験時間のはじめと終わりとに筆記（穴埋め問題）で試験し、その間の時間は学生に自習させるといったものです。はじめと終わりとに実施する試験範囲は同じですが、異なる問題にすることで挟まれた自習時間中の学生の集中力は高く維持されます。



message

新しい項目を学ぶと、それまで覚えた内容は忘れてしまいますが、本法を実施した学年の学生は、思い出すのが早い、あるいは忘れていても「あっ、そうでした！」と病理学や口腔病理学のことを頭の片隅に残してくれていることが多いように感じています。